

十島村

特定非営利 活動法人

トカラ・インターフェイス

団体の紹介・活動の目的

トカラ列島の豊かな自然資源・伝統文化の情報発信と特産品の宣伝販売を通じて、島の担い手人材育成を図ることをねらいに活動を展開しています。

トカラ列島の少子高齢化と人口減少で島のコミュニティの持続困難等、深刻化する地域課題に対応するためにトカラにしかない豊かな地域資源を宝にして活用し、人と人が共生・共助する地域の仕組み【結（ゆい）】を再認識・再構築し、住民皆が共感する新たな地域づくりを目指しています。

活動の内容

トカラ列島で営まれてきた地域の仕組み【結（ゆい）】を再構築し、自然との共生・人と人が支え合い・助け合う地域社会づくりを目指した活動を基本にしています。

具体的には、トカラ独特の豊かな地域資源を宝にした島の魅力資源を体験交流する「島まるごと自然博物館」や島の他にはない伝統産物の宣伝販売活動、そして人口減少に対応した都市若者の呼び込みと人材育成を一体化した地域づくりをすすめています。

連携・協力している団体など

各島住民自治会、地域づくり委員会、敬老会

①



「住民・Iターン者の現地研究会」

トカラ列島の島バナナは濃厚な甘味で美味しさ日本一の人気産物。Iターン移住者の定住産物で島の栽培者との現地勉強会で栽培拡大を目指します。

②



「アンテナショップ・宣伝販売情報発信拠点」

トカラの魅力的な伝統産物を消費者に繋ぐアンテナショップ「トカラ結プラザ」を鹿児島市内に開設し、ここを拠点に情報発信と宣伝販売活動を行い、島の産業興しに繋がっています。

③



「若者移住者の呼び込みと定住相談」

トカラ列島への移住者の呼び込みと定住支援～平成22年から都市若者の呼び込みを行い、その結果、平成29年1月現在で、27家族72人の定住につながりました。

④



「Iターン者と住民とのワークショップ」

若者人口増で活気づく宝島に見る小規模離島の再生戦略。トカラ結ネットチームで宝島の未来発展を探る～こうなったらいいな～ワークショップ